

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 18 日

Table with columns for project name, location, classification, and budget details. Includes '児童館運営管理事業' and '子育て支援及び少子化対策'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about childcare center management and monthly operations.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段 (担当者活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Includes data for activity volume, target numbers, and utilization rates.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input volume and cost trends from 28th to 30th fiscal years. Columns include 28年度(実績), 29年度(実績), 30年度(計画), and 期間限定総投入量.

Table comparing actual expenses for 29th fiscal year with budget for 30th fiscal year. Columns include 29年度事業費実績 (千円) and 30年度事業費予算 (千円).

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content from 30th to 32nd fiscal years. Includes a note: '※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する' and a list of main activities like '市長マニフェスト'.

事務事業名	児童館運営管理事業	事務事業No.	10101000445	所属課	児童福祉課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 【飯塚児童館】 昭和40年事業開始 【上小幡児童館】 昭和45年事業開始 【岩瀬中央児童館】 平成6年事業開始

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？
 市で全て管理し、専用職員を配置して欲しい

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	見直し余地がある	児童の利用者が少なくなっており、地区の集会場としての機能の方が主となっている現状がある。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	見直し余地がある	一部のサークルを除き、利用者のほとんどが地区に住む人であり、市民全体が受益者となっていない状況である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	向上余地がある	地域子育てサークル活動の活性化等により、利用者の増加は見込まれる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	影響無	現在の利用状況では、他の施設で代替できると考えられる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	連携ができる	現在の利用状況では、他の施設で代替できると考えられる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	削減余地がない	建物は老朽化し、毎年何らかの修繕を行っている。職員の常駐を求められている。現在の管理方式では法律を満たしていない。児童福祉法では2名以上の児童厚生員を常駐させ管理することになっているが、費金の支払いは多額になり、財政面で難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	見直し余地がある	児童館の近隣に住む者が利用者の多くを占めている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果

①目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
②有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
④公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり

(2) 全体総括（振り返り、反省点）
 児童館として機能しているか精査する一方で、施設の管理を行うのは市が適当であるのか検討が必要。

(3) 今後の事業の方向性

<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→ <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う	→	<input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	→ <input type="checkbox"/> 現状維持			

(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	○		
	低下			

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策
 県から指摘を受けている以下のことについて、改善が必要。
 ・児童館の適正な運営を図るため、運営委員会を設置し、その意見を聞くこと。
 ・児童厚生員を2名以上置くこと。避難及び消火に関する訓練を少なくとも毎月1回実施すること。
 ・事業自体の見直しが必要であり廃止も検討すべき。
 児童厚生施設（児童館）としての用途を廃止する。

(6) 事務事業優先度評価結果

成果優先度評価結果	
コスト削減優先度評価結果	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） <input type="checkbox"/> C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> D：2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>